

変化を生き抜く「軸」と「修正力」の育成③

# 高みに挑む

## 教科外活動

前号では、教科学習における「軸」と「修正力」、

そしてそれらを育むために必要な指導について考えた。

今号は、文化祭や体育祭、進路行事、そして部活動など教科外の活動に焦点を当て、

「軸」と「修正力」を育む上で教科外活動が果たす役割、

教師に求められる指導について考えていく。

本シリーズで見いだされる  
高校教育における「軸」と  
「修正力」の育成の可能性

8月号からシリーズで考えてまいりました、「変化を生き抜く『軸』と『修正力』の育成」も、今号が最終回となります。8月号において、ますます激しい変化が予想される10年後の社会を生き抜くために必要な力は「軸（をつくる力）」と「修正力」であると問題提起し、10月号では、自己肯定感と多角的な視点が2つの力の土台であること、そして、12月号では、教科学習における2つの力の育成の可能性を示しました。

そして、最終回となる今号では、教科学習活動以外の教育活動、すなわち教科外活動を取り上げることにより、高校の全ての教育活動における「軸」と「修正力」の育成の可能性が見いだされます。今回取材にご協力いただいた高校生や卒業生の生の声、そして、先生方の熱い思いから、それを感じていただけるものと思います。

『VIEW21』高校版編集長 柏木 崇

8月号～2月号の共通テーマ

## 10年後を見据えた人材育成

8月号で  
見えてきたこと

- ◎今後10年間も、変化の激しい社会であることが予想される
- ◎そのような社会を生き抜くためには、自分の中に、変化に流されない「軸」（目標や目的、信念、こだわりなど）を持つこと、そして、その「軸」に基づいて柔軟に変化に対応する「修正力」が求められる

本号のテーマ

## 生徒の中に「軸」を育み、 「修正力」を高める教科外活動とは？

仲間と共に高みを目指し、  
失敗と成功を経験させる教科外活動

### [P.6～21] 学校事例

#### 事例1 進路行事

生き生きと働く人の熱に触れさせ、  
確固たる志を持った「大学からの人間」を育てる  
東京都立こやまだい小山台高校

#### 事例2 部活動

大好きな野球を通じて、自ら物事に取り組む自主性と  
仲間と協力し合える力を育む  
千葉県立こわがま船橋古和釜高校

#### 事例3 運動会

仲間と全力を尽くす中で、  
より良い価値を生む関係のあり方を学ぶ  
愛媛県立松山東高校

#### 事例4 文化祭

高校生らしい高みを生徒に求め、  
劇づくりの過程の中で教師も生徒と共に挑戦する  
大分県立大分舞鶴高校

### [P.22～27] 座談会

～教科外活動で、生徒の「軸」と「修正力」を育むための指導の観点～

◎視野を広げ、自分の可能性に気付く機会をつくることで、大きな志を持たせる。更に、情報収集力や情報分析力を高めていくことが、修正力の育成につながる



東京都立小山台高校 山本美園

◎生徒の思考や学力に合わせて、自分の状況を解釈するためのヒントを教師が与える。生徒の動きを見て、なぜそうしたのかを聞き、「こうすればもっと良くなるよ」と修正力を高める後押しをする



千葉県立船橋古和釜高校 望月正彦

◎生徒が大きな夢を持つためには、彼らと接する私たち教師も、大きな夢を持つことが大切。教師が軸を持ち、修正していくモデルとして、自分の姿を生徒に見せる



愛媛県立松山東高校 石丸隆祥

◎成功体験は、その先、何かでつまづいていた時に立ち直る際の原動力となる。そうして、成功体験を土台にしながら失敗を乗り越えることで、修正力は養われていく



大分県立大分舞鶴高校 田所伸